

50周年記念山行 宝剣岳～空木岳報告書

【山城】 中央アルプス 宝剣岳～空木岳

【日時】 10/2(前夜発)～10/4

【参加者】 CL 田中 SL 三代川 澤田(淳)

加藤 宮城(記録)

【タイム】

10/2 船橋 22:45～中央道～2:10 菅の台バスセンター(仮眠)

10/3 菅の台 5:00～5:35 しらび平 5:40～5:48 千畳敷 6:22～

6:52 極楽平～7:00～7:35 宝剣岳 8:22 極楽平～10:08 濁沢大峰～11:30

檜尾岳 12:05～13:50 熊沢岳 14:15～東川岳 16:00～16:20 木曾殿山荘

10/4 山荘 5:40～7:20 空木岳～駒石 8:30～池山小屋水場～12:30 登山道入口

～13:25 菅の台バスセンター～14:35 駒ヶ根駅

【山行報告】



ちんまり、富士山

ロープウェイより
日の出と雲海

今回は、小屋泊り計画でしたが予約が出来ず、テン泊へ変更です。

菅の台バスセンターでは、CLがチケット売場、SLがバス停、女性陣は車内ぬくぬくの仮眠です。男性2人の大活躍によりバス・ロープウェイどちらも始発に乗って千畳敷カールへ。



意気揚々。
だけど背景がね...

宝剣岳を背景に
撮り直して出発



ちらほら霜柱の最初の登りがいきなりキツイですね。

30分で稜線に出て、ザックをおろしたSLが「極楽だ～」と伸びると、「極楽平だからな」見知らぬ若者に即ツッコミ。うぷぷっ。

凍結破壊という自然現象で砕かれた宝剣岳は、白い花崗岩で凛々しく尖っています。空身(山の会で覚えた単語の中で、一番好きな言葉!)でピストン。鎖場や、垂直に近い壁が出てきますが、ホールドもステップもあるので楽しく登れます。

強風ながらも快晴。南アルプス、乗鞍、御嶽山を眺めて戻る途中で、



辻本・古関組に遭遇。

笑顔で別れ、島田娘～濁沢大峰～檜尾岳～熊沢岳と縦走です。

ハイマツが多い行程なので、派手な紅葉は見られませんが小さな秋を見つけつつ、ひたすら歩きます。

プチっと秋。
ナナカマド



強風の稜線歩きは体力を消耗します。

途中の下りで足をとられた私は、半端なでんぐり返しの様相で頭から落下。

ハイマツに優しく受け止められます。ハイマツ君、ありがとう。

気力、体力が落ち、時間との闘いになってきた一行は もはや、テン泊装備を担いでる事を無視。木曾殿山荘を目指して心を一つにします。夕刻、

CLの交渉で小屋泊りを確保した我々は、小屋の外で屋根付きキャンプの夕食です。疲れ切った身体に、具だくさんの豚汁、焼き鮭、白飯。

お箸の国の人々には、何よりのラインナップ(食担 Sさんの用意が素晴らしかった)で身体の内側よりほっこりします。

少量のお酒とお喋りを楽しんで、早々と就寝したのです。

初めての小屋泊りを朝まで快眠した私(他のメンバーは色々あったみたい)は、用意された胃に優しい卵雑炊に「朝ごはん、食べないんです」のはずが、ちゃっかり完食。パワー漲ります。木曾殿山荘で扱う、キリムのポシェットを買い占めて出発です。

初っ端から、なかなかの急登。びっくりするくらいの大きさの石を落石してしまい、気を引き締めます。核心だ！と思うレベルの第1ピーク、第2ピークを越えて空木岳の山頂へ。



2日目は下るだけ！と思っていた私の思惑を裏切り、これまたアップダウンが続いてやっと登山道入口へ到着。

Kさんに荷物番をお願いして、ザックをおろして空身(しつこいけど大好き)でバスセンターまで ぼくぼく歩いて下ります。

駐車場へ着いた時には、Sさんのポッケにどんぐり君たち。

勇者SLに後を託して、車でKさんを登山道入口へ迎えに行きます。

ゆっくり上がって、ゆっくり下る途中でSLからの連絡が入り、皆で駒ヶ根駅へ向かい、健闘を称え合います。

達成した後は、お腹が空いてしまって我慢出来ず、

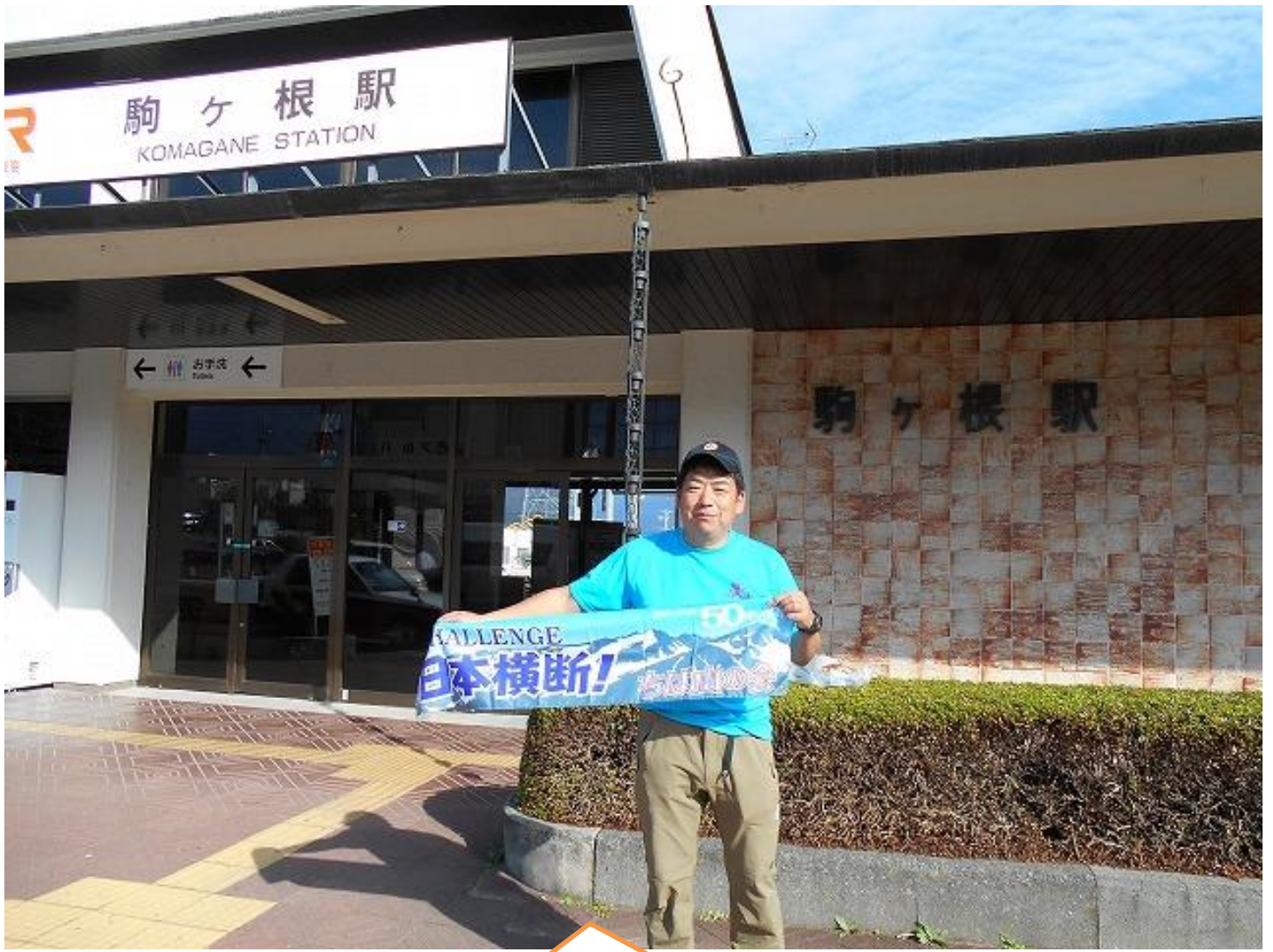
昼食をがっつり食べてから、温泉に浸かって帰葉したのでした

笑顔の
レディース



実はこんなに
高いんです





走り抜けたアベベ三代川、サイコー！！